

自分で簡単に調べられます

# 大津波でこの地点の浸水は何mになるか？

北海道の公式ホームページを開く



検索ボックスで 地震・津波対策 と検索



津波・地震対策 - 総務部危機対策局危機対策課 をクリック



2021年7月20日太平洋沿岸の津波浸水想定を設定しましたをクリック



北海道太平洋沿岸の津波浸水想定公表についてというページが開かれますので、ずっと下の方までスクロールする



津波浸水想定区域図の電子地図 (WEB版 GIS) についてはこちらからというところをクリック



北海道太平洋沿岸の津波浸水想定マップ (浸水深) の公表についてという地図のページが開くので、地図の右上のボックスで

振興局： 釧路総合振興局

市町村： 釧路市 を選択



あとは浸水の深さを調べたいところにカーソルを持っていくと

浸水深：●●m

市町村：釧路市

と表示されます。



市役所	5.88m
釧路駅	5.71m
鳥取アークス	3.17m
しんよう団地	6.65m
昭和イオン	0.72m
星が浦生協	4.36m
鶴野小学校	1.26m
大楽毛駅	6.73m
音別海光団地	8.08m
音別行政センター	6.82m

7月、北海道は千島海溝沿いの巨大地震が発生した場合の新しい津波浸水想定を発表しました。国が発表した最新の津波高に基づいた想定で全体としてはこれまでの想定よりわずかですが低くなっています。ただし、壊滅的な被害をもたらす大津波であることは間違いありません。

新しい想定津波の浸水の深さについて、いくつかの地点を紹介します。(おおよその深さと考えてください。)

この浸水深は、道のホームページに載って



## これが「津波浸水想定マップ」(WEB版 GIS)です



いる津波浸水想定マップで私が調べたものです。検索の手順と、QRコードを左側に書きました。自分の家の浸水深などが簡単にわかります。

これを見ても、大楽毛南地区、音別海光地区の津波の高さや、西部全域が水没することが分かります。

高い建物のないところには、津波避難タワーなどの避難施設の建設を急がなくてはなりません。